

中央市議会 だより



実り豊かな
生活文化都市

<http://www.city.chuo.yamanashi.jp>

No.37

平成27年5月1日発行

わ～
おいしそう～

3月定例会で決まったこと	……P2
審議結果	……P7
市長の行政報告	……P8
一般質問に9議員	……P9
委員会レポート	……P13
6月定例会の予定	……P17
市民の談話室・編集後記	……P18

介護予防予算決まる

③ やすらぎの拠点づくり

○ファミリーサポートセンター運営事業	331万円
○在宅福祉・介護予防事業	1,200万円
○地域生活支援事業	3,447万円
○地域ぐるみの学校安全体制事業	24万円
○学校一斉メール配信事業	54万円
○心の教室相談事業	121万円
○外国語教育推進事業	1,069万円
○小中学校体育館改修事業	9,825万円
○生活困窮者自立支援事業	2,000万円



玉穂庁舎窓口で手話通訳する職員

④ 活力と交流の拠点づくり

○農業体験教育ファーム事業	80万円
○学校給食・米消費拡大事業	264万円
○農業構造改善事業	663万円
○土地改良施設等基盤整備事業	1億1,899万円

平成27年度特別会計予算

会 計 名	予 算 額
● 国民健康保険特別会計	36億8,533万円
● 後期高齢者医療特別会計	2億1,210万円
● 介護保険特別会計	18億5,414万円
● 地域包括支援センター特別会計	1,394万円
● 簡易水道事業特別会	2億9,310万円
● 下水道事業特別会計	12億9,234万円
● 農業集落排水事業特別会計	2億4,187万円
● 田富よし原処理センター事業特別会計	5,461万円

平成27年度上水道事業会計予算

	予 算 額
収益的支出	2億3,744万円
資本的支出	14億4,383万円

討 論

介護保険特別会計予算に
2つの理由から反対

【反対討論】

介護予防・日常生活支援総合事業を実行する予算が含まれている。対象となる高齢者から不満の声があり、延期すべき。

介護保険料の引き上げは高齢者の生活を直撃する。これ以上の負担増はするべきではない。

平成27年度
当初予算

新子育て支援

改選後、初めての定例会である平成27年3月定例会は、3月10日から26日までの17日間の会期で開かれました。市長提案の条例制定、改正および廃止14案件のほか、平成26年度補正予算4案件、平成27年度予算10案件、その他8案件、報告1案件を審議しました。
また、最終日には、平成26年度補正予算2案件、人事5案件が追加提案され、審議しました。

総額207億6,737万円

一般会計 114億3,869万円
特別会計 76億4,741万円
企業会計 16億8,127万円

平成27年度一般会計(対前年度[骨格予算]比8.9%増)

おもな事業

①自治力の拠点づくり

- 庁舎整備基本計画策定業務 1,026万円
- 行政事務電算化推進事業 2億9,525万円
- 公共施設等総合管理計画策定業務 955万円



市川三郷線までの整備が待たれる田富玉穂大津線

②暮らしの拠点づくり

- リニア政策事業 919万円
- 田富玉穂大津線道路整備事業 1億4,237万円
- 橋梁長寿命化修繕事業 9,362万円
- 住宅用太陽光発電助成事業 500万円
- 防災諸費事業 2,560万円
- 消防施設整備事業 1,855万円
- 地域公共交通活性化事業 430万円

討論

一般会計予算「学校施設整備費
(田富北小移転基本構想業務委託)」で討論

【反対討論】

この業務委託はリニア中央新幹線が通ること
で生じた事案であり、全額JR東海が負担を確約
した時点で、補正予算でも十分対応出来る。

【賛成討論】

学校施設全体の補償額をJR東海と交渉するう
えで、市では全体補償額を把握しておく必要が
ある。

一般会計予算に3つの理由から反対

庁舎整備基本計画策定業務委託料として庁
舎建設のために1,026万円が計上されている。
庁舎建設事業は多くの市民から反対や見直し
の声があり、このまま推進することは賛成で
きない。

職員給与を削減する予算が含まれている。
この削減は民間労働者の賃金引き上げに逆行
する。

平成27年度に介護保険料が引き上げされる。
介護保険会計に一般財源を繰り入れて、保険
料の上昇を抑えるべき。

平成26年度

一般会計補正予算

3,644万円を追加

総額127億2,114万円に

おもな補正内容

・ 総務費	行政事務電算化事業費	▲207万円
・ 民生費	障害者福祉費	274万円
	生活保護費	1,600万円
・ 衛生費	予防費	▲399万円
・ 商工費	工業用地整備費	▲1,192万円
・ 土木費	道路橋梁新設改良費	▲2,570万円
	公共下水道費	▲2,969万円
	住宅管理費	▲1,195万円
・ 教育費	小学校費	60万円
	中学校費	136万円
・ 諸支出金	財政調整基金費	1億2,636万円



売却された高部工業用地

特別会計補正予算

・ 簡易水道事業特別会計	▲330万円	総額 3億7,498万円
・ 下水道事業特別会計	▲8,189万円	総額 12億7,676万円
・ 工業用地整備事業特別会計	9,657万円	総額 7億1,625万円

追加議案

平成26年度一般会計補正予算

地域住民生活等緊急支援交付金事業など1億3,084万円を追加

総額 128億5,198万円

国民健康保険特別会計補正予算

5,943万円を減額

総額 32億7,482万円

地域住民生活等緊急支援のための交付金

地域消費喚起・生活支援型

地方公共団体が実施する地域における消費喚起策やこれに直接効果を有する生活支援策に対し、国が支援。

- 地方公共団体が策定する実施計画に定めた事業例：プレミアム付商品券等

地域創生先行型

地方公共団体が実施する地方版総合戦略の早期かつ有効な策定と、これに関する優良施策等の実施に対し、国が支援。

- 地方版総合戦略の策定
- 地方版総合戦略における「しごとづくりなど」の事業例：UIターン助成等

条例制定

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する 法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定

教育行政の見直しがされたため条例の改正を行いました。

施行期日
平成27年4月1日

中央市教育長の勤務時間その他の勤務条件及び職務に専念する 義務の特例に関する条例制定

新たに教育長の職務専念義務を定める必要が生じたため条例を制定しました。

施行期日
平成27年4月1日

中央市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者 負担額等に関する条例制定

子ども・子育て支援法施行により、特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の利用者負担額等を定める必要が生じたため条例を制定しました。

施行期日
平成27年4月1日

中央市地域支援事業の利用料に関する条例制定

地域支援事業における利用料に関し必要な事項を定める必要が生じたため条例を制定しました。

施行期日
平成27年4月1日

中央市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を 定める条例制定

地域包括支援センターにおける人員の配置基準等を定める必要が生じたため条例を制定しました。

施行期日
平成27年4月1日

中央市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等 に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定

指定介護予防支援等の事業に関する基準を定める必要が生じたため条例を制定しました。

施行期日
平成27年4月1日

条例改正

中央市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の改正

特別職に対して支給する給料の月額について改正を行いました。

施行期日
平成27年4月1日

中央市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例 の改正

教育長に対して支給する給料の月額について改正を行いました。

施行期日
平成27年4月1日

中央市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例 の改正

介護保険法の一部改正により、所要の改正を行う必要が生じたため条例を改正しました。

施行期日
平成27年4月1日

中央市介護保険条例の改正

第6期介護保険事業計画において、介護保険料および介護保険料率を改定する必要が生じたため条例を改正しました。

施行期日
平成27年4月1日

中央市職員給与条例等の改正

給料月額、管理職員特別勤務手当の額等について条例を改正しました。

施行期日
平成27年4月1日

中央市行政手続条例の改正

行政手続法の一部を改正する法律の施行により条例を改正しました。

施行期日
平成27年4月1日

中央市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例中改正

教育委員会の委員長の職が廃止されるため。また防災会議委員の報酬の額を定めるため条例を改正しました。

施行期日
平成27年4月1日

条例廃止

中央市工業用地整備事業基金条例の廃止

高部工業用地整備事業の完了により、中央市工業用地整備事業基金条例を廃止しました。

施行期日

平成27年3月31日

その他

山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合の解散

平成27年3月31日をもって山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合が解散するため。

山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合の財産処分

組合を解散することにより、同組合の財産処分を行いました。

山梨県市町村総合事務組合理約の変更

山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合が平成27年4月1日に山梨県市町村総合事務組合と統合することにより、規約を変更しました。

南アルプス市外二市一町指導主事共同設置規約の変更

第1条中「第19条」を「第18条」に改めるため、規約を変更しました。

新市建設計画変更

新市建設計画に基づき行う事業の経費に充当する合併特例債の起債期間が延長されたことなどにより、新市建設計画の一部を変更しました。

市道路線認定

主要地方道甲斐中央線の一部が市に移管されるため。また、中巨摩地区広域事務組合への進入路新設により、この道路を市道認定しました。

市道路線廃止

市道に認定されていましたが、機能を有していないため、路線の廃止を行いました。

市道路線変更

道路台帳の見直しにより、起終点の変更を行いました。

和解及び損害賠償額の決定

専決処分日：平成26年12月4日

車道内の瑕疵（欠陥）による事故にかかる和解および損害賠償額について専決処分しました。

討 論

【反対討論】

- 中央市地域支援事業の利用料に関する条例制定

この条例は実施を延期することができる。実施するのは県内で3市だけで、延期すべきと考える。

- 中央市介護保険条例の改正

今回改正される基準月額、初めて5千円を突破する。消費税増税などで生活の負担は増し、保険料の増額は、高齢者の生活を直撃する。介護保険会計に一般財源を繰り入れ、保険料の値上げを抑えるべき。

- 中央市職員給与条例等の改正

公務員給与の削減は、民間労働者の賃金引き上げに逆行し、強いブレーキを踏むことになってしまう。それが、民間賃金を引き下げる要因となり、結果、国民の購買力を下げることになりかねない。

平成27年第1回定例会審議結果

○賛成 ●反対（名執義高議長を除く）

種 別	案件名	議 長	副 議 長	中 央 フ ォ ー ム								市 民 ク ラ ブ	公 明 党	日 本 共 産 党	無 所 属	結 果			
		名 執 義 高	宮 川 弘 也	山 本 国 臣	田 中 一 臣	福 田 清 美	田 中 健 夫	伊 藤 公 夫	河 西 茂	小 池 章 治	金 丸 俊 明	齊 藤 雅 浩	井 口 貢	田 中 輝 美	田 中 清		木 下 友 貴	山 村 一	関 敦 隆
条例 制定 改正 廃止	・ 特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例中改正の件 ・ 教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例中改正の件 ・ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件 ・ 教育長の勤務時間その他の勤務条件及び職務に専念する義務の特例に関する条例制定の件 ・ 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・ 地域支援事業の利用料に関する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
	・ 地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例制定の件 ・ 指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定の件 ・ 指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・ 介護保険条例中改正の件 ・ 職員給与条例等中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
	・ 行政手続条例中改正の件 ・ 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例中改正の件 ・ 工業用地整備事業基金条例廃止の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 26 年度 補正 予算	・ 一般会計補正予算（第10号） ・ 簡易水道事業特別会計補正予算（第5号） ・ 下水道事業特別会計補正予算（第4号） ・ 工業用地整備事業特別会計補正予算（第3号） ・ 一般会計補正予算（第11号） ・ 国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 27 年度 予算	・ 中央市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○
	・ 中央市国民健康保険特別会計予算 ・ 中央市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・ 中央市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
	・ 中央市地域包括支援センター特別会計予算 ・ 中央市簡易水道事業特別会計予算 ・ 中央市下水道事業特別会計予算 ・ 中央市農業集落排水事業特別会計予算 ・ 中央市田富よし原処理センター事業特別会計予算 ・ 中央市上水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	・ 山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合の解散の件 ・ 山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合の財産処分の件 ・ 山梨県市町村総合事務組合規約の変更の件 ・ 南アルプス市外二市一町指導主事共同設置規約の変更の件 ・ 新市建設計画変更の件 ・ 道路線認定の件 ・ 道路線廃止の件 ・ 道路線変更の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事	・ 副市長の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
	・ 教育長の任命について同意を求める件 ・ 教育委員会委員の任命について同意を求める件 ・ 教育委員会委員の任命について同意を求める件 ・ 教育委員会委員の任命について同意を求める件 ・ 固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成27年第1回臨時会審議結果(2月24日)

○賛成 ●反対（名執義高議長を除く）

種 別	案件名	議 長	副 議 長	フォー ラム 中 央								市 民 ク ラ ブ	公 明 党	日 本 共 産 党	無 所 属	結 果				
		名 執 義 高	宮 川 弘 也	山 本 国 臣	田 中 一 臣	福 田 清 美	田 中 健 夫	伊 藤 公 夫	河 西 茂	小 池 章 治	金 丸 俊 明	齊 藤 雅 浩	井 口 貢	田 中 輝 美	田 中 清		木 下 友 貴	山 村 一	関 敦 隆	渡 辺 亨
人事	・中央市監査委員の選任について同意を求める件		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

市長の

施政方針

3月
定例会

市の魅力を発信し、移住・定住・産業立地など市の活性化につながる積極的な行政運営に取り組みます

中央市長 田中久雄

各施策の進捗状況

不妊治療費助成事業の拡大

4月から男性不妊治療に対し、1回当たり5万円を年間2回まで上乗せ助成し、子どもを産み育てることが夫婦だけでなく、社会全体の課題として考え、取り組みます。

子ども・子育て支援事業計画

子育て支援策を整備展開し、すべての人が子育てに関わり、子育て中やこれから子どもを持つことを希望する家庭で、安心して産み育てることのできる環境づくりをさらに推進します。

高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画

国が示すガイドラインに沿って、訪問型、通所型。その他の生活支援サービスを実施し、多様なサービスが提供できるよう移行していきます。住み慣れた地域で安心して快適な生活を送れる地域づくり、環境づくりを推進します。

水道事業

老朽化の著しい布施設水場の詳細設計が完了し、27・28年の2力年で工事完成の計画です。29年4月の本稼働を目指し、市民に安全で安定した水の供給ができるよう対応していきます。

リニア中央新幹線関係

JR東海は本市全体の事業説明会を、昨年11月に開催、地区単位のものきめ細かな説明会も12ブロックに分け、自治会公民館等で行いました。説明会で出された意見・質問等を整理し、特に理解が得られていない事項は、JR東海に対し丁寧な説明や詳細な資料等の公表など、市民の立場に立つて強く要請していきます。中央市リニア活用推進懇話会では、市のまちづくり推進上の課題を分野ご

とに整理し、「住む・訪れる・働く」の3テーマを設定しました。県の駅周辺整備に対する方針を注視し、リニア効果を生かしたまちづくりの実現に向け取り組んでいきます。



学童保育のようす(田富中央児童館)

Q

リニアは迷惑施設

A

適切な対応を要請する



リニア中央新幹線のフード設置例

関 敦隆 議員

議員 新山梨環状道路と、リニアの路線に挟まれる地区住民への対応は。

緩衝地帯は4メートルではなく、最低20メートルは必要と考える。

リニア路線の北側の土地交渉は。

所有地の一部だけが買収対象の残地問題は。

市長 著しく住環境が損なわれる懸念がある。

25年9月、ルートが示されて以降、市は重要課題と認識し、あらゆる機会

を通じJR東海に適切な

対応を要請してきた。今後市民の理解が得られるよう丁寧な説明を求めたい。

JRは安全性・環境面から片側4メートルの緩衝地帯設置を計画。根拠は実験線等の実績を踏まえ判断したとしている。

騒音・振動・磁界・日照問題に対する住民の理解が得られたとはいえない。

県を含めた3者による検討機会を設け、地域住民の意見を踏まえ要望していく。

路線の北側は深刻な日照問題が懸念される。JRは事業用地幅22メートルを超える買収を考

えない。補償は国の指針に従い、構造物の設計等を踏まえて個別対応する方針。市は地権者の意見を伝える。

原則事業用地のみの対応だが、個別・具体的ケースを踏まえ検討すること。

Q A

新県政に市長のスタンスは

ビジョンに期待し連携する

金丸 俊明 議員

を持ち、同じ方向を向き、最高の市民サービス提供実現に向け取り組んでいく。

【関連質問】

▼関 敦隆議員

▼宮川弘也議員

金丸議員 リニア中央新幹線と共存するまちづくりは。

市長 開業効果を最大限享受し、地域を発展させるための重要な課題。県と連携しリニア中央新幹線を生かしたまちづくりの推進に取り組んでいく。

金丸議員 地方創生プロジェクトの設置は。

市長 庁内組織を横断的に網羅する専門プロジェクトの設置も含め、平成27年度中に人口ビジョンと地方版総合戦略を策定する。

金丸議員 市民サービス向上への取り組みは。

市長 自発的な事務改善、創意工夫による市民サービス向上に日々心がけている。職員が共通の意識



リニア駅近郊のまちづくり(案)

Q 地方創生交付金の活用策は A プレミアム付商品券を発行 中央市版総合戦略の策定に

小池 章治 議員

小池議員 地方創生交付金の活用策と地方創生への取り組みは、地方創生に向けた外部人材の活用策は。
市長 国・県合わせて約7、800万円が交付される見込み。地方消費喚起型の約4、800万円はプレミアム付商品券の発行事業として実施する。
地方創生先行型の約2、900万円は、中央市版総合戦略策定費用、移住・定住に向けた情報誌の発



行に、児童館での音楽教育（リトミック）導入や子育てガイドブックのリニューアル、図書館の読み聞かせ事業の拡充等に活用する。
27年度策定予定の人口ビジョンと総合戦略では、外部有識者組織を立ち上げ、市の特色を生かした骨太の地方創生策を打ち出したい。
全国公募、地域おこし協力隊等検討する。
小池議員 人口減少による財政の影響は、合併に伴う交付税算定替えは、歳入の確保は。

渡辺議員 身延線とリニア駅のアクセスは、シルクラインの延長線の橋の新設は。
リニア路線と新山梨環状道路に挟まれる地区の対策と側道は。
市長 リニア駅とJR身延線の連絡が円滑に、短時間で移動できる方策等を県へ要望する。
リニアと関連する重要な路線。来年度策定予定の

Q 身延線とリニア駅のアクセスは A 短時間で移動できる方策を県へ要望

財政課長 人口減少をいかに少なく抑え、労働人口を確保することが重要課題と考えている。
5年後には約10億円の減少が見込まれていた。策定の見直しにより約半分程度に圧縮が想定されるが住民サービスが低下しないよう、引き続き行

財政改革の推進、公共施設の適正な見直しに取り組む。
太陽光発電設備の屋根貸し、基金の国債での運用等を検討すると同時に収納率の向上に努める。
【関連質問】
▼渡辺 亨議員
▼木下友貴議員

渡辺 亨 議員

中央市幹線道路網整備計画の中で検討する。
住環境への悪影響が懸念される。JR東海には、丁寧の説明して住民の理解を得るよう要請する。
環状道路の側道もあり、道路状況が複雑になることも想定される。緩衝帯の活用を含め検討する。
渡辺議員 学校給食センターは。
教育長 施設の老朽化が



田富小中学校給食室

著しく、学校給食法の管理基準に適合していない。リニア路線と関係する田富北小学校移転を含め総合的に判断したい。
渡辺議員 学校の通学路は。
教育総務課長 浅利川左岸は道幅が狭い。安全性・防犯等を考慮し、現状の通学路となっている。
【関連質問】
▼福田清美議員
▼関 敦隆議員



新規就農者が取り組んでいる遊休農地

福田議員 庁舎整備基本計画策定と27年度のスケジュールは、3地区ごとに市民参加型の下部組織、検討会をつくる考えは。

Q

庁舎整備基本計画策定は

A

市民の声を反映させる

福田 清美 議員

市長 6月に女性委員の登用も含め、市民検討委員会の構成を拡充し、基本計画の検討に着手する。基本計画は年内策定を目的に、その後は市民の意見を聞くパブリックコメントを実施する。28年度以降、設計業務に着手し、31年度中の供用開始に努めたい。審議経過は市広報、ホームページ等を活用し、随時報告する。地域性の強い課題は、何らかの方法で意見聴取の機会を設けたい。

福田議員 特定地域再生計画の具体的な事業は、**政策秘書課長** 担い手不足による耕作放棄地解消のため、農産物直売所や加工施設、市農業振興公社等の連携による農産物ブランド化、女性認定農業者の活用等を方向性としている。

27年度以降、内閣府の認定を受けるための計画策定を行う。

【関連質問】
▼**関 敦隆議員**
▼**渡辺 亨議員**

Q

空き家対策は

A

社会問題として対応

田中議員 土地家屋統計調査における現状結果は、倒壊等の危険がある件数を把握しているか。
「空き家等対策の推進に関する特別措置法」への対応は。
空き家対策窓口の一本化は。
適正管理のための条例制定は。

市長 国の指針に即し対応したい。
主担当となる課を明確にして対応する。
特別措置法の運用を注視し、条例の必要性を検討する。

政策秘書課長 25年度の空き家は2,230戸、総住宅数の14.9%。全国平均より1.4%高い。

田中 輝美 議員

消防団から危険家屋の連絡を受ける体制になっているが、現在、掌握していない。

田中議員 マイナンバー制度の周知方法は、スタート時点で利用できる分野等は、導入のスケジュールは、施工にあたっての課題は。

政策秘書課長 市の広報、ホームページにバナーを作成し、お知らせしていく。
年金、雇用保険、医療保険、生活保護、確定申告、被災者台帳等で使われる。

27年10月以降、国から各個人に番号の通知があり、28年1月から利用開始となる。



老朽化が進む空家

業務を行うための準備作業、独自利用方法の検討、普及促進などが上げられる。

田中議員 庁舎の空きスペースの利活用は。

市長 庁舎統合の重要課題。市民要望に応える。庁舎整備市民検討委員会の中で検討していただく。

【関連質問】
▼**渡辺 亨議員**

A Q

感染症対策は

行動計画を策定した

斉藤 雅浩 議員

斉藤議員 感染症対策マニュアル等の整備状況は。

インフルエンザワクチン接種費用の子どもに対する助成は。

市長 各省庁で関係機関ごとに、集団の特性や実情に合わせたガイドラ

インやマニュアルを作成している。本市もその手引書を活用している。独自には「食中毒および感染症対策マニュアル」、26年度には「新型インフルエンザ等対策行動計画」

を策定している。今後、必要に応じ内容を更新す



通学路を通る児童

る。

接種を勧奨するには、国の有効性・安全性が確認されていることが必要。現時点では助成は考えていない。

斉藤議員 白井排水路計画と市道2017号線の歩道設置は。

通学路の安全対策は。道路の老朽化に伴う、計画的な舗装の補修は。

市長 市単独事業での歩道設置は財政的に困難。国費事業への採択申請を検討する。

農政課長 排水路改修の動向により判断する。

教育長 本年、中央市通学路交通安全プログラムを策定する。2017号線も検討する。

建設課長 市の道路維持管理修繕計画で実施している。国の交付金を活用できる事業は年次計画で対応する。収納率の向上に努める。

【関連質問】

▼小池章治議員

▼金丸俊明議員

雪害の復旧は

迅速に対応する

田中 清 議員

Q

A

田中議員 雪害による農業施設の撤去・再建・修繕の状況と今後の見通しは。

農政課長 国の補助事業を適用した撤去は、完了が確認できた全農家。再建が完了し書類が整った2件にも3月に補助金の支払いが済んだ。

雪害の補助事業は国が繰り越し事業と認定したので、再建・修繕が完了し、提出書類が整った農家から現地調査を行い、4月中に支払う予定。



雪害の被害を受け再建中のハウス

田中議員 期日前投票手続きの簡素化は

総務課長 市ではホームページ上に宣誓書を掲載し、ダウンロードすることで事前に記載ができ、期日前投票に際しての利便性を図っている。今後、入場券裏面への印刷についても選挙管理委員会として検討したい。

【関連質問】

▼渡辺 亨議員

新しい介護保険制度は

総合事業を推進

木下 友貴 議員

木下議員 新しい介護保険制度は、総合事業への移行準備は。

は。

市長 互いに支え合い、安心して暮らせるための地域づくりの一環としてとらえ、積極的に推進していきたい。

高齢介護課長 27年度は予防給付も継続する。

28年度から順次、総合事業に全面移行する予定。

木下議員 新たな算定方式による影響は。

財政課長 支所に要する経費等が反映され、交付税減額の縮減が予想されるが、金額は未確定。

木下議員 子ども医療費助成制度の対象年齢の拡大は。

市長 財政負担が大きいく導入は考えていない。

木下議員 子ども・子育て支援事業計画は

市長 育児休業中の継続利用や求職活動を、保育

の必要性の事由に加え、基準を緩和。保育短時間

利用の機会を増やすべく基準を下げて設定した。

木下議員 水道耐震化の状況と今後の計画は。

水道課長 26年度末で、上水道が22・24%、簡易

水道が13・89%。下水道事業や道路改良事業等と

併せての工事で、コストを削減するなどの努力をしていく。

【関連質問】

▼関 敦隆議員

総務教育常任委員会

審査ポイント

庁舎統合の場合、業務機能はすべて本庁舎に移すのか

教育長の勤務時間その他の勤務条件及び職務に専念する義務の特例に関する条例の制定

総務課

問 教育委員会は独立性をもっていたが、今後は。

答 27年4月1日から、法律の改正で市長が直

接教育長を任命する。任期は3年。現教育長の任期の間は、経過措置として今の条例を適用する。首長が総合教育会議で教育委員会と協議できる。

新市建設計画の変更

政策秘書課

問 新庁舎の位置は中



本庁舎となる田富庁舎

心部に建設予定だったが、経費削減や利便性を考慮し増築とするのか。

答 協議を重ね、経費の削減や市民の利便性を考慮し、現在の庁舎を活用する。タウンミーティングを実施し、12月議会で田富庁舎を増築し統合庁舎とする説明をした。

問 業務機能の全てを本庁舎に移すのか。

答 本庁舎にすべての課を移す。玉穂・豊富庁舎に支所機能は残り、27年度に庁舎に関する基本計画を策定予定。

問 計画策定メンバーは。

答 基本構想検討委員会のメンバーを基本的に一般公募し、女性委員を増やしたい。

厚生常任委員会

審査ポイント

地域支援事業の対象者は

地域支援事業の利用料に関する条例の制定

高齡介護課

問 条例制定で事業の対象人数は。

答 予防給付サービス利用者は、すべてが対象ではない。給付サービスを受けていない人も含め面談をしている。

問 現在受けている人が対象とならないこともあるのか。

答 基本的には考えにくい。

介護保険条例の改正

高齡介護課

問 3年ごとに保険料が上がっているが。

答 高齡者が増え、介護が必要な人が増えている。介護予防を重点に事業を行い、上昇を抑えたい。

平成26年度一般会計補正予算（第10号）

高齡介護課

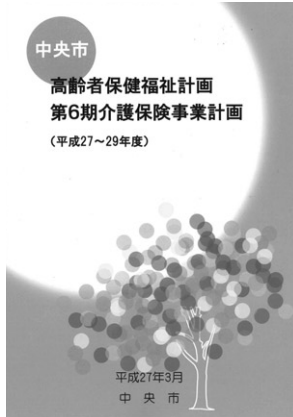
問 田富福祉公園の温泉は利用者が多いが、抜本的な改修を考える必要があるのでは。

答 公共施設検討委員会では、当面の間、現状を維持としている。庁舎建設にも関係する可能性がある。検討したい。

健康推進課

問 子宮頸がんワクチン接種HVP検査の受診状況など、どう考えているか。

答 HVP検査は事業開始の25年度に333人が受診。意識は上がっている。子宮がん予防は検診が大切で、20代の受診率を増やしたい。



高齡者保健福祉計画
第6期介護保険事業計画

産業土木常任委員会

審査ポイント

流域下水道の減額内容は

工業用地整備事業基金条例の廃止

商工観光課

問 現在ある基金は、どう処理するのか。

答 一般会計へ繰入れる。

平成26年度一般会計補正予算（第10号）

農政課

問 雪害緊急対策再建費用は繰越費分で足りるのか。

答 繰越分で賄える。

下水道事業特別会計補正予算（第4号）

下水道課

問 流域下水道負担金の減額内容は。

答 計画期間は平成23年度から25年度の3年間。計画水量に対し処理水量が少なく剰余金が生じ、26年度に充当した。



釜無川浄化センター（終末処理場）

予算特別委員会

平成27年度一般会計予算

総務課

問 豊富線利用者が少ないの
で見直し、コミュニティバ
スを増やしたほうが甲府に行
くのにも利用しやすい。昨年
の協議の内容は。

答 甲府市とバス会社を含め
昨年、甲府市役所で協議。豊
富線は負担金が550万円と
大きく、廃止が無理なら減便
し金額の試算もお願ひした。
甲府市は上九中道線も見直し、
26年度中に方向づけると回答
した。

政策秘書課

問 コンビニの証明書発行シ
ステム改修内容は。

答 住民票・印鑑証明書・戸
籍を発行。大手コンビニで実
施予定。現在住んでいる市町
村がコンビニ交付を実施して
おり、ネットワークが繋がっ
ていれば発行できる。マイナ
ンバー制度、マイナンバーカ
ードの普及推進にもなる。

危機管理課

問 防災倉庫は玉穂中・三村
小に設置された。今後の予定は
ある。

答 8小中学校すべてに設置
する。

管財課

問 解体した田富中央公民館
の跡地活用は。

答 決まっていない。

環境課

問 回収有価物売上は各自
治会に配分しているが、報償
費内訳は。

答 各自治会の有価物・リサ
イクルの代金。報償費は収集
費用として1kg当たり5円を



マイナンバーカード（見本）

地元に出している。

税務課

問 誘致企業に対する固定資
産税の減免措置について資産
税を初年度30%、2年目20%、
3年目10%とあるが、減免は
いつからか、補助金で出すのか。

福祉課

答 27年分は1月1日に所有
企業に課税。企業誘致支援策
は28年度から補助。

医療費窓口無料

問 医療費窓口無料でなくな
った理由。市で無料化を実施
できないか。

答 重度医療は昨年11月から
償還払い。窓口無料化を実施
してきたが、国からのペナル
ティにより補助金がカットさ
れ償還払いになった。県と同
じ歩調で実施する。

子育て支援課

問 7児童館で放課後児童ク
ラブを実施しているが、定員
割れもある。利用の少ない児
童館の今後の方針は。

答 児童館は老朽化し、他市
と比べると多い。学校の近く
が良いが、子どもの分布状況
等を見て市全体で考える。

建設課

問 一町畑のデیلیーから玉



歩道設置が待たれる通学路

穂南小学校までの通学路の歩
道設置工事の進捗状況は。

答 用地測量のため境界確認
を行った。詳細設計を説明し、
道水路取り付けや圍場入り口
を提示し、早くて夏以降に買
収したい。

農政課

問 松くい虫被害対策事業補
助金は昨年と同額だが、山林
は松くい虫被害が多い。対応は
ある。

答 市は増額を希望しているが、
県からの割り当て金額として
いる。

予算特別委員会

教育総務課

問 田富北小学校移転基本構
想委託費は、JR負担もある
のか。

答 2回交渉したが具体的な
金額提示はない。事前把握す
るため、基本構想を委託。今
後もJRに要望していく。

生涯教育課

問 放課後子ども教室の内容
は。田富地区だけが対象なの
か。

答 毎週土曜日に学習サポー
トなど行い、講師料を支払っ
ている。中央市内の子どもが
対象。



田富北小学校

平成27年度中央市介護保険特
別会計予算
高齡介護課

問 予防事業の対象者への声
掛けは職員が行うのか、民間
委託か。

答 事業対象者は予防給付で
要支援1、要支援2の方で、
訪問介護・通所介護の利用者、
介護認定になりそうな方など、
要支援の方は順次面談。予防
事業参加者は事業を通じ個別
に面談。基本的に職員が行っ
ているが、要支援者から相談
を受けた場合、事業所のケア
マネージャーも説明できるよ
う研修会を行っている。

第1回臨時会

新しい議会構成が決まりました。

改選後初めての議会（第1回臨時会）が2月24日に行われ、
正副議長、常任委員会委員など議会構成を決定しました。

議 長 名執義高 **副議長** 宮川弘也

監査委員 山本国臣

委員会構成 （ 委員長 ○副委員長 議席番号順）

総務教育常任委員会

金丸俊明 ○井口 貢 小池章治 関 敦隆 伊藤公夫 山本国臣

厚生常任委員会

田中輝美 ○木下友貴 名執義高 田中健夫 福田清美 山村 一

産業土木常任委員会

斉藤雅浩 ○河西 茂 渡辺 亨 田中 清 宮川弘也 田中一臣

議会運営委員会

福田清美 ○河西 茂 田中輝美 小池章治 伊藤公夫 宮川弘也

議会広報編集委員会

木下友貴 ○田中 清 渡辺 亨 斉藤雅浩 金丸俊明 福田清美

庁舎整備特別委員会 リニア中央新幹線 対策特別委員会

改選後、初めての庁舎整備
特別委員会およびリニア中央
新幹線対策特別委員会が3月18
日に開催され、正副委員長の
互選が行われました。今後も
引き続き、諸問題について必
要な調査を行い、検討・報告
していきます。

各特別委員会正副委員長は
次のとおりです。

庁舎整備特別委員会
委 員 長 田中一臣
副委員長 田中 清
リニア中央新幹線対策特別委員会
委 員 長 井口 貢
副委員長 河西 茂

人 事

副市長の選任

平成27年3月31日の任期満了により、新たに副市長が選任されました。

萩原 一春 氏（関原）

教育長の任命

平成27年3月31日に辞職することにより、新たに教育長が任命されました。

田中 正清 氏（東花輪）

教育委員会委員の任命

1名が辞職したことで、1名が平成27年5月16日の任期満了により、新たに教育委員2名が任命されました。

中楯眞佐樹 氏（大鳥居） 塩島 文博 氏（今福）

固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了により、新たに3名の固定資産評価審査委員会委員が選任されました。

村松猪虎馬 氏（木原） 野呂瀬英臣 氏（成島） 田中 健 氏（東花輪）

平成27年6月定例会の予定

6月議会は、次のとおりの予定となります。お気軽に、傍聴においでください。

2日(火) 午前10時	開 会	11日(木) 午前10時	一般質問
4日(木) 午前9時30分	厚生常任委員会	12日(金) 午前10時	一般質問
5日(金) 午前9時30分	産業土木常任委員会	15日(月) 午前10時	閉 会
8日(月) 午前9時30分	総務教育常任委員会		

日程等は定例会前の議会運営委員会で決定されます。変更される場合がありますのでご了承ください。

議 会 の 動 き

1月

- 4日 中央市消防団出初式
- 5日 中央市役職員新年互礼会
- 9日 広報編集委員会
- 11日 中央市成人式
- 26日 中央市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定懇話会
- 28日 改選議員打合せ会
- 29日 中央市観光振興計画策定検討委員会

2月

- 4日 中央市リニア活用推進懇話会
- 5日 山梨県市議会議長会議長、局長会議
山梨県市議会議長会議員合同研修（後期）
- 6日 会派代表者会
- 10日 中央市地域公共交通活性化協議会
国民健康保険運営協議会
- 12日 会派代表者会
- 13日 中央市3大まつり実行委員会
2市1町正副議長、事務局会議
- 15日 男女共同参画フォーラム
- 17日 会派代表者会、中央市消防委員会
- 18日 中央市観光振興計画策定検討委員会
改選議員打合せ会
- 20日 市制施行9周年記念式典
- 23日 一般質問通告調整会議

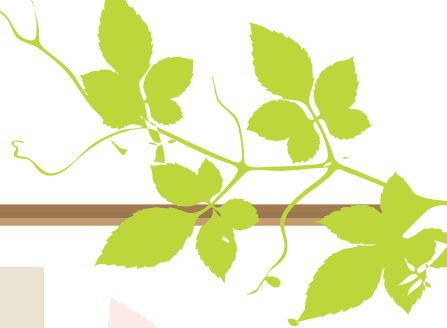
24日 第1回臨時会

3月

- 2日 議会運営委員会
会派代表者会
- 4日 西日向外三山恩賜県有財産保護組合議会定例会
大畠山外七字恩賜県有財産保護組合議会定例会
中央市地域包括支援センター運営協議会及び
中央市地域密着型サービス運営委員会
- 9日 中央市観光振興基本計画策定検討委員会
- 10日 第1回定例会開会
- 11日 市立中学校卒業式
- 18日 庁舎整備特別委員会
リニア中央新幹線対策特別委員会
- 20日 市立小学校卒業式
中央市観光振興基本計画策定検討委員会
- 24日 議会改革推進委員会
- 25日 中央市リニア活用推進懇話会
甲府地区広域行政事務組合議会定例会
- 26日 第1回定例会閉会
東八代広域行政事務組合議会定例会
- 27日 市立保育園卒園式
中央市三大まつり実行委員会
- 30日 三郡衛生組合議会定例会
中巨摩広域事務組合議会定例会



市民の談話室



大田和
金丸 孝



読書のすすめ

当地、馬籠に生を受け、以来60余年。ケータイも持たず、晴れ時々畑。雨の日、寒い日は読書、時に絵や書を書いたり、俳句をひねったりと、アナログの生活を送っている。

すべて自己流で分からないことばかり。その都度、図書館で借りたり、本屋で専門書を求めたり、すると目的でない本が目につくことも。

数年前「ファール昆虫記」が目につき、年甲斐もなく読んでみる。フンコロガシ、ハチ、セミ、サソリ、ハンミョウなど。

子孫を残すための必死の生き方、植物や自然との共存共栄の仕組みなど、実に感動もの。続けて「シートン動物記」も読む。

生存競争のきびしさ、敗者のかなしさ…。これらの本を子どものころ読んでいたら、自分のその後も変わっていただろうな、などと考えさせられる。

子どもの時にぜひ読んでほしい本です。

本を読むと「得」します。

みなさんもどうですか。



リバーサイド第3
末木 健



中央市最高峰「たいら山」

私の家は、釜無川の土手に接している。この土手を登り、四方の山を眺めるのが好きだ。もう10年ほど前になるが「山梨百名山」を踏破した。

土手から眺める主要な山々の名前は分かるが、それ以外の小さなピークや尾根続きの名もない山名は、ほとんど知らない。そうした時には小林経雄氏の著者「甲斐の山山」をひも解く。

数年前、中央市から山名募集のあった市内最高峰は、めでたく「たいら山」と決まったが、かつては「茶屋平」・「まないた」とも呼ばれ、新しい名前に異議を唱える人もいたようだ。しかし、山名はその時々で変わる事もあり、親しみやすい名前が喜ばれることも多い。

茶屋平から「たいら山」への名称（愛称）命名は、地域の方々に興味を持ってもらう役割を大いに果たしているようだ。最近は訪れる人も増え、案内板の設置を望む声も多いと聞く。市によれば近々に設置したいとのことなので、さらなるハイカー増加が楽しみである。

編集後記

3月議会は途中に小中学校の卒業式がある議会となりました。それぞれの学校から新しい舞台へと力強く羽ばたく卒業生の姿に、見守る私たちも力づけられました。ぜひ新天地でも元気に活躍してほしいと思います。

今議会は改選後初の議会でした。新しい議会となり、活発な議論が交わされた議会となりました。より、市民目線の市民のために開かれた議会となるよう議員一同取り組んでまいります。

また、議会だよりも新しい編集委員の元で、よりいっそう市民の皆さまに議会活動が分かりやすく伝

わるよう改革を進めてまいりたいと考えています。その第一歩として、発行時期を従来より一カ月早くいたしました。より早く議会の様子をお伝えできます。内容についても工夫を凝らして編集作業を進めてまいります。

[木下友貴]

議会広報
編集委員会

委員長
副委員長
委員

木下 友貴
田中 清
渡辺 亨 斉藤 雅浩
金丸 俊明 福田 清美